

JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	ネパールにおける学習に遅れがちな生徒の保護者への支援（フェーズ2）
2. 活動国・地域	ネパール・シンドウパルチョーク郡 スンコシ No.2 及びNo.5
3. 事業分野	開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業
4. 事業の目標	本事業では、訪問指導者が、学習に遅れがちな生徒や出席状況に課題のある生徒およびその保護者が抱える課題を把握し、その改善を図ることを目指す。併せて、保護者が訪問指導を受けることにより教育への関心を高め、課題を認識し、その改善に向けて行動に努めるようになることを意図している。また、生徒については、学校への出席状況を改善させるとともに、家庭学習において毎日学習に取り組むことができるようになることを目標とする。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	活動地域には学習に遅れがちな生徒が一定数おり、その背景には、保護者の教育への関心が低いことや、家庭での学習習慣が定着していないことが、これまでの調査や活動を通じて明らかになってきた。2024年にはJICA基金を活用し、地域の3校のうち要望のあった生徒・保護者を対象に、家庭訪問や訪問時の教育指導を行った。その結果、保護者が子どもの勉強時間の確保に協力するようになったり、生徒が学校に通うことを楽しいと感じるようになったりするなど、一定の成果が見られた。こうした好影響を知った複数の学校から新たな協力要請が寄せられたことから、現地NGOや学校と協議の上、事業を継続して実施することとした。
6. 事業の意義・目的	各家庭の実情を把握し課題を見出すことができる家庭訪問を通じて、保護者の教育の大切さへの理解を深め、子どもの家庭での学習習慣の定着を目指すことが、本事業の目的である。これが達成されれば、生徒の出席率や学力の向上が期待でき、ひいては中途退学の抑止や、将来の自己決定・自己実現につながる。こうした長期的な子どもの成長の基盤を築く点に、本事業の意義がある。
7. 主な対象者（受益者）	スンコシNo.2の2校（Thokarpa Secondary School、Kalidevi Primary School）およびスンコシNo.5の1校（Bhumeswory Secndary school）における、学習に遅れがちとされる生徒77名とその保護者
8. 実施期間	（西暦）2026年3月～2026年10月
9. 活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 訪問する家庭の決定 事業の対象となる家庭および生徒を、各学校と協議し決定する。対象地域の広さにより1回の訪問で指導できる数が異なり、Thokarpa HS 40名、Bhumeswory HS 30名、Kalidevi PS 7名とする予定。 訪問指導者講習会（訪問指導前の1回） 家庭訪問を実施、各家庭で指導する訪問指導者7名を、現地NGO・学校・行政区との協議の上で選定する。2024年度事業の経験者を講師として招き、訪問指導ガイドラインを提示しながら、家庭訪問での対応力の向上やモチベーションの向上を図る。 保護者講習会（訪問指導の前後に各1回） 事業概要を生徒の保護者に説明し、訪問指導者との協力関係構築を図る。学校での学習効果を高めるための家庭での親のあり方、子どもの家庭学習改善等について指導を行い、事前・事後それぞれアンケートを実施する。 家庭訪問指導（計8回） 訪問指導者は各家庭を訪問し、対象生徒とその保護者の実態把握、課題への助言、経過観察、指導助言を行う。事業期間中、月に2回程度を想定。 学校・行政・現地NGOとの連携強化 学校長や行政区長に対して、訪問指導者および現地NGOから活動や成果の報告を行う。
9. 事業費	998,000円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	ディーヨ フォーラム JAPAN
2. 主な活動内容	ネパールのNGO「DIYO FORUM」と連携・協力して、ネパールの主に農村住民に対し、学びと自立を促進する事業を実施する。特に、女子生徒（小中学生・高校生・大学生）への奨学金支援、カレンダーの彩色を通じた障害者支援、トカルパ村及びカトマンズにおける学生寮支援、村の学校への文具等の支援を行っている。